

広島県におけるナラ枯れ被害について

令和3年1月19日
森林保全課

1 概要

- ナラ枯れとは、ナラ類等（特に広島県ではコナラ、ミズナラ）の樹幹にカシノナガキクイムシが入り込むことでナラ菌が樹幹内で伝播し、根から水を吸い上げる機能が弱まり、7～9月頃に木が枯死することである。
- 本県におけるナラ枯れの被害は、平成18年度に初めて確認されており、その後防除対策を実施した結果、平成22年度をピークに減少傾向に転じたが、本年度は、夏期に少雨・高温が続いたことなどから、被害本数が3,632本となり、対前年度の約2.5倍に増加した。

2 県内の被害状況

表1 広島県におけるナラ枯れ被害本数の推移（H22～R2）

（単位：本）

| 区分 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 広島市 | 196 | 200 | 260 | 34 | 133 | 58 | 589 | 431 | 976 | 964 | 1,058 |
| 三次市 | 3 | 40 | 72 | 87 | 205 | 90 | 59 | 212 | 0 | 0 | 120 |
| 庄原市 | 33 | 130 | 53 | 87 | 166 | 35 | 3 | 72 | 4 | 29 | 436 |
| 廿日市市 | 61 | 5 | 15 | 11 | 14 | 10 | 38 | 110 | 26 | 124 | 429 |
| 安芸高田市 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 12 | 29 | 59 | 98 | 871 |
| 安芸太田町 | 4,246 | 1,979 | 1,783 | 1,243 | 543 | 307 | 180 | 736 | 223 | 88 | 251 |
| 北広島町 | 1,749 | 550 | 357 | 787 | 602 | 296 | 645 | 588 | 373 | 163 | 467 |
| 合計 | 6,288 | 2,904 | 2,541 | 2,249 | 1,663 | 796 | 1,526 | 2,178 | 1,661 | 1,466 | 3,632 |

注：令和2年10月末時点の調査結果

3 被害対策

(1) 防除（薬剤くん蒸）

カシノナガキクイムシを駆除することが最も効果的であることから、被害木への薬剤くん蒸処理が一般的に行われており、本県では平成22年度から実施している。

表2 広島県における直近3か年の実施状況（H30～R2）（単位：本、千円）

| 年度 | 実施市町 | 事業量 | 事業費 |
|-----|------------|-----|-------|
| H30 | 広島市, 安芸太田町 | 281 | 1,693 |
| R1 | 広島市, 安芸太田町 | 268 | 1,402 |
| R2 | 広島市, 安芸太田町 | 225 | 1,241 |

(2) 情報の共有化

関係機関（国、中国4県、県内市町等）との会議を通じた被害の状況や防除方法等の情報の共有

4 今後の対応

今年度、被害が再び拡大してきたことから、関係市町等と連携して、ホームページ等で情報発信し、被害木の早期発見につなげるとともに、被害の最先端区域を集中的に防除することにより、被害の拡大を防止する。